

業務名：奈良県経済産業振興大綱策定に係る調査検討業務委託

評価の着目点	判断基準	評価※ (1~5) 【A】	係数 【B】	配点	
				小計 【A×B】	合計
専門技術能力	①国、地方公共団体からの受注実績 平成30年4月1日から令和3年3月31日までに完了した、同種業務の元請実績を評価する 同種業務の実績 1件 2点、2件以上 5点	5	1	5	5
業務の実施方針	②業務理解度 目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する	5	1	5	20
	③実施手順 業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する 業務量を正確に把握し、工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する	5	1	5	
	④実施体制 業務内容に適した実施体制になっている場合に優位に評価する	5	1	5	
評価テーマに関する技術提案	⑤評価テーマ1 「奈良県における商工業、農畜水産業及び観光産業の連携による産業動向の分析」 奈良県の商工業、農畜水産業、観光産業の各分野の現状等について、既存データや業務経験、事例研究等を活用し、奈良県の経済産業動向を分析する上での着眼点が的確に示されている場合に優位に評価する	5	2	10	40
	先進事例の分析活用等、商工業、農畜水産業及び観光産業が連携することによる域内経済循環への波及効果等が把握でき、県の経済産業動向の分析に有用な調査手法提案について、具体的かつ明確に示されている場合に優位に評価する。	5	2	10	
	ウイズコロナ、アフターコロナにおける奈良県産業の強みを活かした商工業、農畜水産業及び観光産業の連携のあり方について、奈良県の経済産業動向を踏まえた検討がなされ、新産業創出や異業種からの新規参入の可能性等も含めて具体的な説明が示されている場合に優位に評価する。	5	2	10	
	商工業、農畜水産業及び観光産業の連携を推進し効果を高めるために克服すべき課題について、マーケティング、プロモーション、研究開発、立地環境整備、金融支援、人材確保・育成等の観点から具体的かつ明確に示されている場合に優位に評価する。	5	2	10	
⑥評価テーマ2 「奈良県が目指すべき経済振興の方向性の検討」	奈良県産業の強みを活かした商工業、農畜水産業及び観光産業の連携のあり方や、連携による域内経済への波及効果等を踏まえ、ウイズコロナ、アフターコロナにおいて奈良県経済の目指すべき姿について具体的な説明が示されている場合に優位に評価する	5	3	15	30
	連携による効果を高めるために取り組むべき施策の方向性について、経済循環促進、税源涵養、産業集積、人材育成・雇用確保等の観点から具体的な説明が示されている場合に優位に評価する。	5	3	15	
業務コストの妥当性	⑦業務コストの妥当性 最も安価な提案から順次、5点→4点→3点を付与する (3位以下は一律3点を付与する) 業務量の目安として示した限度額を超えている場合、又は見積項目が不足している場合には選定しない	5	1	5	5
合計				100	100

※②～⑥の各判断基準については次の5段階評価とし、それぞれ係数を乗じて得点を算出する。
(1:悪い、2:やや悪い、3:普通、4:やや良い、5:良い)